



途別小学校の教育目標
あかるい子 (徳)
かしこい子 (知)
たくましい子 (体)
知・徳・体をバランスよく育てよう

JICA研修員の皆さんとの交流



8月30日(金)、JICAの研修員の皆さんと交流会を行いました。パキスタン、ミャンマー、スリランカ、ザンビア共和国から研修に来て5名の皆さんが来校され、子どもたちと交流していただきました。自国では獣医や政府の重要職をされているエリートの皆さんですが、子どもたちに注ぐ眼差しはやさしく、温かな接し方がとても印象的でした。ゲーム的な要素を取り入れた紹介や、挨拶でアイスブレイクすると、子どもたちの緊張はどんどんほぐれ、一緒にクイズの答えを考えたり、握手しながら喜び合ったりする姿が見られるようになりました。

給食や、昼休みも一緒にすごし、子どもたちが日本の遊びを教える時間になると、遊びの紹介や説明を、英語とジェスチャーを日本語に交えながら積極的に行っていました。コミュニケーションスキルや他者に働きかける能力を育てる充実した体験学習となりました。

北海道教育委員会からのお知らせ

北海道教育委員会では、道内すべての公立の小学校や中学校等を対象に「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒等に関する調査」を実施します。学校等における支援体制や子どもたちへの支援の状況等を把握し、今後の北海道の特別支援教育に関する施策などの検討に活用します。なお、調査結果を公表することとしていますが、市町村名や学校名の公開は行いません。



えだまめ収穫

9月4日(水)、全校でえだまめの収穫を行いました。今年は全ての作物が順調で、えだまめも豊作です。低学年がまず作業場の椅子を並べ、高学年がカマで刈り取り、中学年が刈り取った豆を作業場に運ぶという分担が見事に機能し、スムーズに作業が進行しました。最後は刈り取った茎から豆を外す作業を全員で仲良く行いました。「つくって食べることの喜び」「リーダーシップの育成」「自己の役割の理解」「なりたい自分の発見」等につながる体験学習です。特に大切にしていることは、作業後の感想や感想文です。感想発表の時間は高学年が率先して話すように担任が意識的に指導しています。体験の中から入力した情報を自分なりの表現で出力することは、言語能力を高めるために重要です。



不審者対応避難訓練

9月3日(火)に、不審な人物が学校に来たことを想定した避難訓練を行いました。「頼まれて子どもを迎えに来た」「俺は急いでいるんだ」などと意味不明なことを言いながら校内に侵入してしまうという設定です。安全に十分留意しながら、また興奮させないように職員で連携しながら校長室に入れました。なだめたり、落ち着かせたりすることの難しさを痛感しました。その間に子どもたちは、足音ひとつたてず見事に避難し、警察の方からお褒めの言葉をいただきました。訓練後、不審者に遭遇したときの対処法について教えていただきました。歩いているとき、自転車に乗っているとき、車の中から声を掛けられたときなど、実際に体験しながら覚えることができました。



ついていかない
車にのらない
おおきな声を出す
すぐ逃げる
しらせる